

研究課題名 (研究番号)	プレドニゾンとプロトンポンプ阻害薬の併用意義 (2025-031)
研究責任者 (所属)	弓削 史司 (教育情報部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	橋爪 敦弘 (日本医薬総合研究所) 齋藤 充生 (ヘルスヴィジランス研究会)
本研究の目的	糖質ステロイド (プレドニゾンなど) の単独投与では、消化性潰瘍のリスクにはならないと治療ガイドラインでは報告されています。ただ、非ステロイド性抗炎症薬などの併用がある時には消化性潰瘍が発現する場合があるため、プロトンポンプ阻害薬を併用する場合があります。(プレドニゾン：炎症抑制、プロトンポンプ阻害薬：胃酸抑制) 今回の研究では、プレドニゾンとプロトンポンプ阻害薬を併用している際に、抗炎症薬などが投与されているか調査します。
調査データ 該当期間	2020 年 4 月から 2025 年 3 月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	● 対象となる患者さま 上記期間内に当薬局にてプレドニゾンとプロトンポンプ阻害薬を併用した方 ● 利用する情報 処方箋と初回質問票の記録を利用します
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間：2025 年 6 月 30 日まで